

第48回 市民祭 岡谷太鼓まつり 世界和太鼓打ち比べコンテスト申込者一覧

	氏名	性別	住所	演奏曲名	曲紹介文
1	太田 結香里	女	神奈川県	よろこび	太鼓を打てることの喜びを打ち込みます。
2	高橋 真生	女	千葉県	大地	大地の鼓動を体と心で表現します。
3	近藤 れみ	女	東京都	鼓響	一打一打を全身で感じ、太鼓の響き届けたい。
4	大塚 菜生	女	埼玉県	天空へ	私の大太鼓が好きだと言ってくれていた天国の祖父への思いを、大太鼓の打ち姿、響きで天空へ届けます。
5	安村 聡理	女	神奈川県	桜雲	桜が一面に咲き白雲のように見える情景を表した「桜雲」。日頃支えて下さる方への感謝をこめて演奏します。
6	丸山 夕芽把	女	東京都	桜、吹雪く	堂々と佇む満開の大樹。強風に花びらを散らされながらも、生命の限り目一杯咲き誇る様子を表現します。
7	村山 佳菜子	女	神奈川県	雪月花	大太鼓、自分自身と向き合いながら、美しい自然の景物を指す語である雪・月・花の演出を打ち込みます。
8	菊地 陽子	女	栃木県	百花繚乱	上光 作調。四季折々、様々な花が色とりどりに咲き乱れ、やがて散りゆく。その力強さ可憐さを表現。
9	川島 萌枝未	女	埼玉県	萌蘖	和太鼓に対する今までの苦悩から芽生えた新たな挑戦心を表現します。
10	栗田 紘子	女	神奈川県	太陽と月	太陽と月、陰と陽、男と女…対称的だが調和し、二つで一つ。大太鼓の魅力が伝わるよう、打ち鳴らします。
11	石島 芳恵	女	栃木県	飛翔	上光作調の一曲。翼を広げてどこまでも飛んでいく鳥の姿をイメージし、しなやかさと力強さで表現します。
1	上岡 強太	男	栃木県	雲海(うんかい)	自然が作り出す雲海。時には荒々しく、時には優しく、そんな様々な表情を見せる雲海を表現しました。
2	境 学	男	神奈川県	命舞(メイブ)	命舞は奏者自身の核である命をテーマとし、己の魂と身体のみで太鼓と向き合い・命舞うが如く打ち込みます。
3	八木 隆之介	男	宮崎県	螳螂之斧	弱い者が力をわきまえず強い者に向かっていく姿。そんな勇姿を太鼓で表現します！
4	江下 光利	男	神奈川県	領域	その場全てを己の領域とし、聞いて下さる皆様に感動と感謝を届けたい。一挙一動、渾身の力で打ち込みます。
5	栄 大規	男	熊本県	よみがえれ	熊本地震で悲しい姿になった城。大太鼓人生の基盤と思い入れのある城。1日も早い復興を願って叩きます。
6	生田 隆明	男	三重県	級長戸乃風(シナトノカゼ)	級長戸(シナト)とは、罪や穢れを吹き払うといわれる風を司る神である。四季折々の風の表情を大太鼓で表現した。
7	山田 嘉穂	男	神奈川県	雲蒸竜変	新しき竜が雲を裂き、雄々しき姿を現す様子を表現した曲です。初参加ですが、堂々と演奏を行います！
8	青木 よしあき	男	愛知県	響命願者	響命願者、和太鼓の本質である響きに願いを乗せ精一杯打ち込む、今自分のできることで全力を尽くします。
9	柳川 立行	男	東京都	鼓青	和太鼓の響きに、命の大切さと平和への祈りを込めて演奏致します。
10	峯本 雄貴	男	和歌山県	乾坤一打	乾は天を、坤は地を表し、この地球上に生かされている喜びを天地に向けダイナミックに打ち鳴らします。
11	佐藤 洸太	男	愛知県	粒々辛苦	一音一音を一粒の穀物にたとえ、試練を乗り越え集まった物の尊さを表現しました。
12	原岡 若輝	男	愛知県	雷吼(ライコウ)	雷が空で吼え大地に降り注ぎ響き渡る様子を表現しました。皆様の心に響き心に残り感動を与えられるように一生懸命打ちます。
13	加藤 杏志	男	愛知県	音遊び	初めての大太鼓、音を楽しみ、音で遊びます。

第48回 市民祭 岡谷太鼓まつり 世界和太鼓打ち比ベコンテスト申込者一覧

14	河部 純矢	男	愛知県	報恩謝徳	恩師の方々への感謝の気持ちを曲にしました。精一杯うちこみます。
15	清瀧 元聖	男	愛知県	宴	初めて大太鼓の大会に出場します。皆様に楽しんでもらえるように叩きたいと思います。
16	中井 雄太郎	男	大阪府	雷音(らいおん)	獅子のように勇ましく、雷のような轟音を。どうせやるなら頂点を、百獣の王ライオンに！！
17	杉山 大貴	男	愛知県	明美(めいび)	清らかで美しいふるさとの山や川の景色をこの曲で表現します。
18	高松 秀行	男	和歌山県	鬼撥の響き	今回ジュニア部門を知り、息子と一緒に出れたらと、鬼撥と2m大太鼓の会話もしてみたくて応募しました。
19	溝口 裕志	男	愛知県	冬夏青々	春夏秋冬、1年通して青々と茂る常緑樹の力強さを表現します。
20	太田 武成	男	東京都	三の錦	故郷火の国熊本を思い、力強くかつ流麗な曲を目指しました。あの美しく熱い熊本をもう一度！
21	國分 入道光雲	男	愛知県	同田貫(どうたぬき)	名刀同田貫。名刀であるものの装飾を全くというほど加えないまさに剛剣。兜割りのごとき打ちで大太鼓勝負！
22	小坂 駿登	男	千葉県	海を渡る八丈武士	島流しにされた武士たちが刀をバチに変え、怒り悲しみを込めて打ったとされる演目をアレンジしました。
23	加藤 慎二	男	茨城県	千軍万馬	まさに一瞬の気の緩みが命取り...とてつもない勢いで協力・裏切り・獲物を狙う戦いが今、始まる...
24	飛龍 源一郎	男	埼玉県	強力伝より、危機一髪	有名な小説、新田次郎作-強力伝より。主人公が、立山の雪渓を横切る雪崩のシーンを太鼓で再現。
25	塚本 隼也	男	東京都	鼓動	大地の鼓動をイメージして作りました。よろしく願いいたします。
26	鈴木 海	男	東京都	阿修羅(あしゅら)	和太鼓奏者 塚本 鷹 作曲。
27	今本 慎太郎	男	石川県	万緑(ばんりょく)	夏に盛りを迎える草木が最も緑を濃く湛えている様子。大自然の偉大さを太鼓の音で表現した曲です。
28	南 守	男	静岡県	打ちだめ	大太鼓の真ん中を思いのかぎり打ち楽しく打てればいい。
29	持田 誠壹	男	愛知県	祝賀(しゅくが)	「天女が舞い、神々が踊り、皆様を御祝福致します！」という、大変縁起の良い「春明太鼓保存会」の曲です。
30	浅野 駿	男	長野県	金太郎	全身全霊で打ち込みます。
31	池内 順平	男	東京都	届け！常滑の空へ	常滑(とこなめ)に住む恩師が本年2月に他界されました。恩師への哀悼と感謝の思いを込めて演奏します。
32	高野 樹	男	福島県	灯	周りの人への感謝の気持ち、太鼓に対する情熱を絶やさず、より強くしたいという想いが込められた曲です。
33	遠藤 元気	男	福島県	心	喜怒哀楽や感情や意志、思いやりや情、生きる鼓動を送る心の声。様々な心の音を太鼓と共鳴させた曲です。
34	鈴木 保利	男	静岡県	無心	心を無にし形・打法にとらわれず、自分の持つ感性と気力で大太鼓を打ち抜きます。
35	高野 正樹	男	栃木県	百花繚乱	上光 作調。四季折々、様々な花が色とりどりに咲き乱れ、やがて散りゆく。その力強さ可憐さを表現。
36	床井 勇太	男	栃木県	飛翔 -Hisyo-	水辺から飛立つ野鳥の羽音のごとく、夢に向かって力強く羽ばたいていく様を描いた曲です。
37	赫音 裕	男	長野県	がむしゃ	我武者羅に夢を追う子どもを太鼓の音色に乗せ表現することで、現代の子ども達へのメッセージを込めました。

第48回 市民祭 岡谷太鼓まつり 世界和太鼓打ち比べコンテスト申込者一覧

38	白石 翔	男	東京都	実(みのり)	大自然の静かさや時に起こる脅威などを表現し、草木などの実をイメージし打ち込みます。
39	小池 晃大	男	東京都	波ノ花	波の花は、厳しい冬の海でしか見る事が出来ない。白く美しい波の花、荒れ狂う日本海を表現しました。
40	小松 英智	男	長野県	報本反始	先人や楽器、道場や環境など、全てに感謝の気持ちを持って演奏させていただきます。
41	岡本 龍男	男	長野県	霞龍 (かすみりゅう)	春霞が風にあおられ渦を巻き、龍が輪を描き舞っているよう。雨を呼び大地が新緑に包まれ新しい命が生まれる。
42	稲垣 昌良	男	千葉県	神鳴り	天を裂く稲妻、轟く雷鳴。古来より「神鳴り」と恐れられた雷の力、それを成す雷神の様を表現します。
43	梅山 尚弥	男	千葉県	黎明	自分の始まったばかりの太鼓人生への思いを届けたいと思っています。
44	井島 昂星	男	熊本県	波濤	青い大海原に一隻の船。突然襲う天変地異。荒れ狂う大波と勇猛な船長との死闘を表現した渾身の曲「波濤」。
45	宮崎 説也	男	三重県	挑戦	日々太鼓と向き合い、困難、挑戦、そして自分に磨きをかけ、その思いを一打一打に気持ちを込めます。
46	倉崎 晴彰	男	埼玉県	一意奮闘	和太鼓への真摯な思いと、大太鼓に対峙する覚悟を表現致します。
47	南 光	男	静岡県	一念天に通ず	全身全霊、力の限りを尽くし、大太鼓に挑みます。

※申し込み順、敬称略

※当日の出場順ではありません。

※曲名、曲紹介文は変更となる場合がございます。